

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 岡 本 公 男

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857) 27-5566

総務大臣政務官

片山さつき参議院議員との 懇談会開催される

参議院議員選挙にあたり自民党の舞立昇治氏まいたちしょうじの応援のため、総務大臣政務官、片山さつき参議院議員が去る四月二十七日、鳥取入りし、智頭町での国政報告会、商工団体等との懇談会など精力的にまいち氏の支援に県内を回りました。

このうち、医師会関係では、四月二十七日(土)午後三時三十分から鳥取県医師会館において片山さつき参議院議員との懇談会を開催し、県医師連盟の役員、東部医師連盟の役員が出席しました。

懇談会では、まず岡本委員長が「せっかくの土曜日の午後、ご参集いただき感謝申し上げます。自民党鳥取県連の山口会長からの要請で懇談会となった。当初は

広く会員へ周知し、講演会形式も考えたが今回は、医師連盟の役員にお集まりいただき少人数での懇談会としたので、親しく懇談、質疑をお願いしたい」と挨拶した後、自民党県連の山口会長から「比例区で羽生田たかし先生、鳥取選挙区でまいち氏が揃って当選するように全力を尽くしたい。本日はテレビ等でもおなじみの片山さつき参議院議員においていただいたので、

忌憚のないご意見をよろしくお願いしたい」と片山議員の紹介を兼ねての挨拶があった。

講演として、片山議員よ

り、最近の国政の状況、TPP交渉参加と医療制度、尖閣などの領土問題など幅広い分野について約三十分お話しいただいた後、質疑応答を行った。

また、自民党候補者である、舞立昇治氏まいたちしょうじからも「ぜひともご支援をいただきました」と挨拶があった。

片山議員の講演について、鳥取県医

師連盟執行委員、東部医師連盟副委員長の松浦喜房先生から感想を含めた報告のレポートをいただきましたので、掲載します。



TPP 交渉の状況などを講演する片山さつき総務大臣政務官(県医師会館)

片山さつき参議院議員との 懇談会に参加して

東部医師連盟副委員長 松浦 喜房

総務大臣政務官の片山さつき議員は、今夏の参議院選挙に立候補を表明している舞立昇治氏^{まいたちしょうじ}応援のため四月二十七日来鳥され、自民党県連のお世話で、比例区候補者（日本医師会副会長羽生田たかし先生）を擁立している団体との懇談会を開催することとなった。

岡本委員長並びに 自民党県連山口会長挨拶

岡本公男鳥取県医師連盟委員長より、「医師は土曜日も働いているので県及び東部医師連盟役員が中心と

なり参加する懇談会形式となった。医師会も候補者を立てている。」と挨拶があった。続いて自民党県連山口享会長は、「県予算・政策は財政課で査定され、権限と実行力を持っている。国でも財務省のチェックが厳しい。鳥取県では予算の十％が地方交付税で占められ、国への財源依存が大きく、自治省（現総務省）・財務省との関係が重要である。比例区では羽生田先生を応援しており、今日は医師会の意見を聞きたい。」と語った。

片山さつき議員の お話し

片山議員は、「TPP交渉参加と医療保険制度との関連」を中心に、最近の中央政治情勢について以下のように語った。「羽生田先生は自民党との繋がりを維持してこられたが、医界から政界への転身は容易ではなく、一般の方からも票を戴けることが必要。自分は舞立候補の総務省での上司であり、早い時期に立派な候補を立てられたことは良かった。参議院選挙には四人が総務省から立候補しており、国と地方の連絡を密にしてほしい。

医療を行うのに必要なマネーの供給は運用が改善され、厚生年金基金も解散の基線まで行かずに踏み留

まっている。日銀の『何でも二倍』という方針により、株式が上昇し、一般事業会社もマネー供給できるようになった。しかし、鳥取で経済の動きが実感できるだろうか。医療費を気にせず受診できるよう、給料が上るには半年から一年かかる。（来年になると消費税も上がるが）二〇一五年には二％の成長が確実と思われる。

エネルギー問題について、ドバイでの価格上昇と円安基調で値上がりしてい



支援のお願いをする、まいたちしょうじ氏（県医師会館）

るが、足元を見られないために、新たなエネルギーの開発が必要である。佐渡沖で石油・天然ガスの試掘が開始されており、自分のルーツは糸魚川にもあるが、日本海側の発展を目指す。自分は総裁選挙では石破議員を応援した。石破幹事長の地元で舞立・羽生田票が少なく困る。

家試験合格の看護師等がいくらでも入ってくるというわけではない。ベトナムやフィリピンとはすでに自由貿易協定が結ばれているが、国家主権は侵されない。特区での自由診療の問題は TPP とは無関係。

入国管理は ID 化により市役所との連携が取りやすくなった。診療上も役立っていると思う。自分は整形外科と慢性医療の学会顧問をしているが、診療報酬も一律に上がる訳ではないので有力な議員を味方につけることも大切だ。ワクチンの副作用や新型インフルエ

石破幹事長からの『TPP では医療保険の問題は対象としない』というメッセージを伝えるので医師連盟の皆様には安心してほしい。医療福祉制度の根幹は我が国が決めることで、世界の手本である国民皆保険制度が弄られることはない。安倍総理は厚生労働畑だし、羽生田票が力を持つ。外国人労働者のなかで技能実習生の問題はあるが、国

ンザ対策等、地方自治体が基本対応しているが、総務省と財務省は地方と密接な関係を持っており、鳥取でどこにも負けない自民党票を出してもらいたい。」

質疑応答・意見交換

質疑応答・意見交換では、

「医療保険の問題は米国とは制度が異なり、交渉にならない。がん保険についてはシェアを減らさないような圧力はある。」「最低賃金は上がりつつあり、仕事を作っても働いてもらうことが大切。生活保護医療券の申請について医師会のチェックを検討している。不要な生活保護を保育・医療に充てる。」「男性医師が多忙で、女性医師を働きやすくする必要がある。」他

に、領土問題、議員定数から国産うなぎの問題に至るまで、丁寧に答えられ、幅広い活動・真摯な情報収集力的一端を窺うことができた。政治家には聴衆の心を

晴らし動かすパワーが必要だと感じた。なお、薬価・医療材料の問題については、「日本製品にも競争力があるので認可に長期掛けない方向で」と回答された。

舞立昇治氏の挨拶

続いて舞立昇

治氏の挨拶があった。鳥取に帰って二ヶ月経ち、名前を覚えてもらえるようになってい

る。下関市勤務時に

医療・介護を受ける人を大切にすることを意識した。経済を進展させることにより社会保障の再

まいたちしょうじ氏 プロフィール

昭和50年生まれ
(本籍地：鳥取県西伯郡日吉津村)

昭和63年3月
箕畛屋中学校卒業

平成6年3月
米子東高校卒業

平成11年3月
東京大学経済学部卒業

平成14年4月
自治省入省

平成11年8月
福岡県庁地方課

平成13年4月
厚生労働省介護保険課

平成15年4月
総務省市町村税課

平成16年7月

総務省大臣官房企画課

平成17年4月

山口県下関市財政部長

平成19年7月

新潟県地域政策課長兼雪対策室長

平成21年4月

同財政課長

平成23年4月

総務省秘書課兼消防庁総務課

平成23年5月

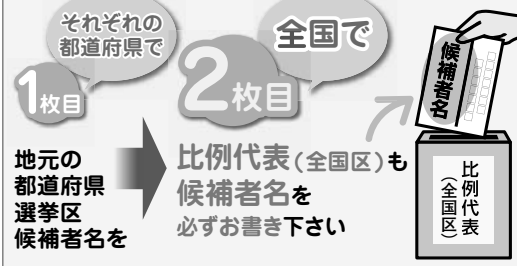
消防庁消防・救急課

平成24年4月

総務省公営企業課兼準公営企業室

構築を図りたいとのこと。東部後援会の野田修県議より「日本再生のエースをよろしく」との挨拶があった。選挙の度に感じるのですが、票のもらえず政治への影響力は大きい。職業を同じくする団体が結束し、また関係者と協同してゆく行動力が求められています。

参議院比例区(全国区)の投票方法について
参議院比例区(全国区)は
名前を書いて投票する選挙です



「え！知らなかったの？」
あなたのそばにも
まだいるかもしれません…



羽生田たかし

はにゅうだ



室内用
自民党 参議院比例区(全国区)支部長

日本医師会 副会長

すべての人に
やさしい医療を

ホームページ www.hanyuda-t.jp

はにゅうだ
羽生田たかし副委員長の全国展開！
6/12～13 鳥取県を訪問！！

『羽生田たかし先生が来鳥します！』
支援のお願いで全国訪問を展開して
ます羽生田たかし先生が、六月十二日
(水)～十三日(木)の二日間、鳥取県
を訪問されることになりました。
主な日程は別記のとおりですが、中部
と西部では励ます会を地区医師連盟の全
面的な協力をいただき開催します。詳細
は各地区医師連盟から別途、ご案内が届
きますので、多数のご参加をお願い致し
ます。
また、医院等の訪問を予定しています
ので、ご連絡がいきましたら面談、ご対
応をお願い致します。

●6月12日(水)

- 12:10 全日空295便鳥取空港着
- 13:30 「東部医師連盟役員との懇談会」於東部医師会館
鳥取市内の医院訪問等⇒倉吉
- 19:00 「羽生田たかし先生を励ます会(中部)」
於倉吉シティホテル(宿泊)

●6月13日(木)

- 倉吉⇒東伯⇒米子移動、医院訪問等
- 17:30 「羽生田たかし先生を励ます会(西部)」
於西部医師会館
- 20:45 全日空820便米子空港発